

# 漁海況情報

第554号(平成30年8月9日発行)

発行:山形県水産試験場 〒997-1204 鶴岡市加茂字大崩594  
TEL0235(33)3150 FAX0235(33)0379  
ホームページ: <http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/>

・庄内総合支庁水産振興課「月峯」は、8月1日に沿岸の水温観測を実施しました。その結果水温の評価は、50m層および150m層は「**平年並み**」、200m層および300m層は「**やや低い**」、表層は「**やや高い**」、100m層は「**かなり高い**」でした。

・7月の地先水温は、鶴岡市加茂(水産試験場)、鶴岡市三瀬(栽培漁業センター)ともに「**かなり高い**」でした。

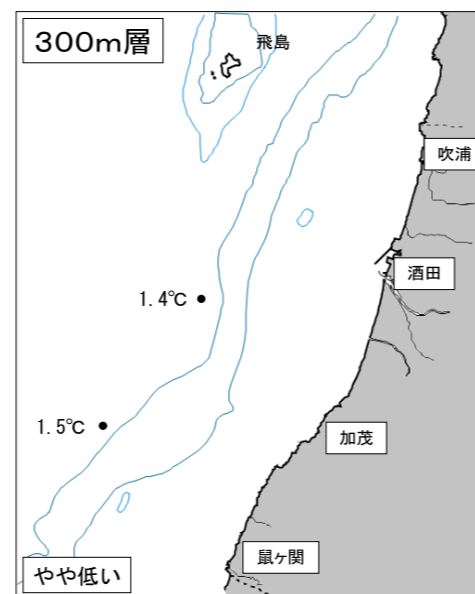
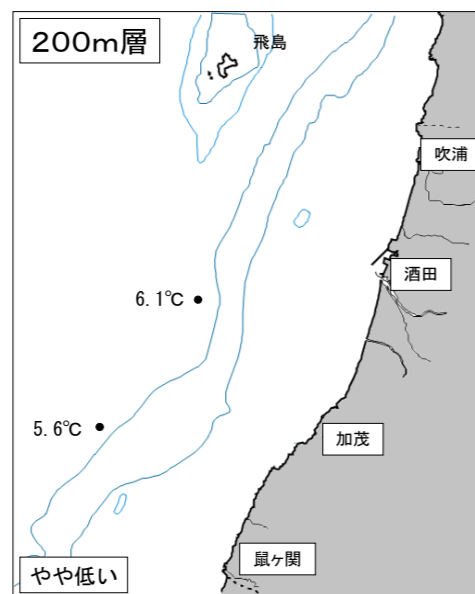
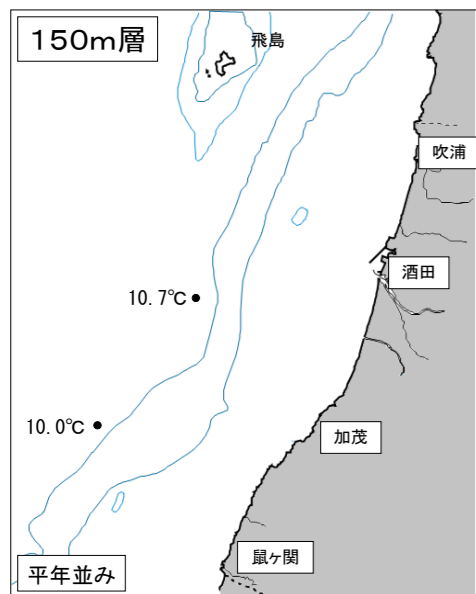
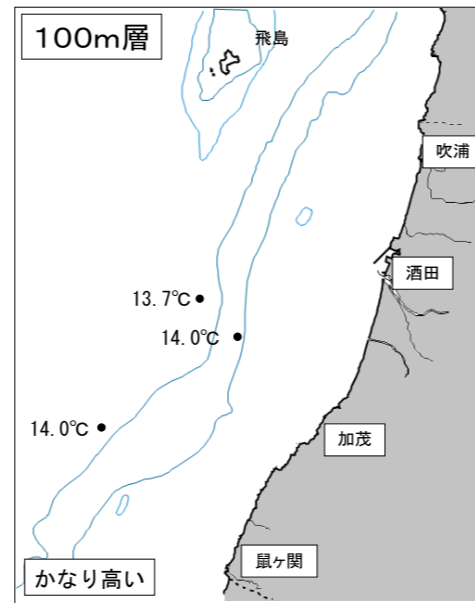
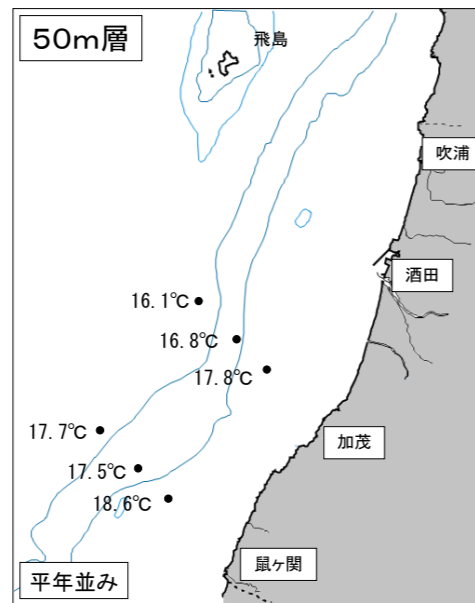
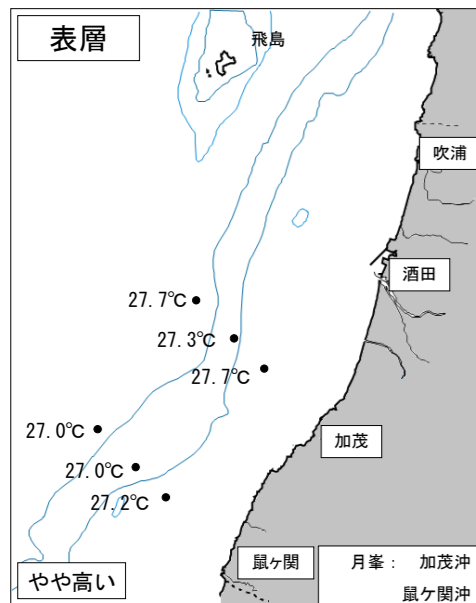
・国立研究開発法人水産研究・教育機構は、「平成30年度第2回日本海スルメイカ長期漁況予報(8月~12月)」を発表しました。  
・今期の全体の来遊量は前年および近年平均を下回る。  
・本州北部日本海および西部日本海では近年同様、漁場が形成されにくい。  
・沖合域では前年および近年平均を下回る。漁場は、北海道西沖で8月~11月、大和堆周辺海域で11月~12月に形成される。

沿岸25海里定点各層別の平均水温(8月上旬観測値)

単位:℃

	表層	50m層	100m層	150m層	200m層	300m層
本年	27.3	17.4	13.9	10.4	5.9	1.4
前年差	+0.7	-1.4	-0.7	-0.3	-1.6	-0.2
平年差	+1.6	+0.4	+1.4	+0.1	-1.3	-0.3
評価	やや高い	平年並み	かなり高い	平年並み	やや低い	やや低い
(前月評価)	(はなはだ高い)	(やや高い)	(かなり高い)	(平年並み)	(やや高い)	(はなはだ高い)

評価の表現: "平年並み"は約2年に1回、"やや"は約4年に1回、"かなり"は約10年に1回、"はなはだ"は約20年以上に1回の出現確率を表しています。



地先平均水温(7月)

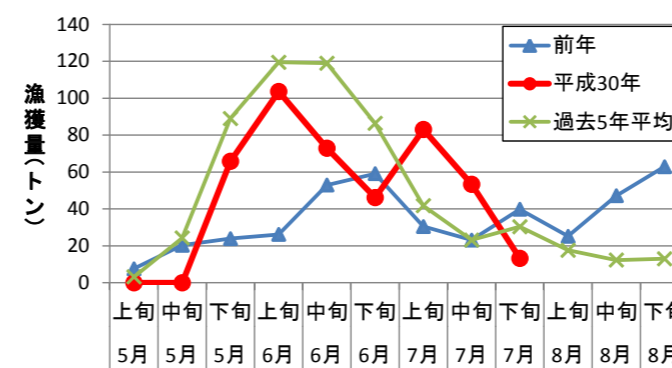
単位:℃

場所	水温	前年差	平年差	評価
水産試験場(鶴岡市加茂港内)	25.4	+0.4	+2.0	かなり高い
栽培漁業センター(鶴岡市三瀬地先)	23.7	-0.1	+1.3	かなり高い

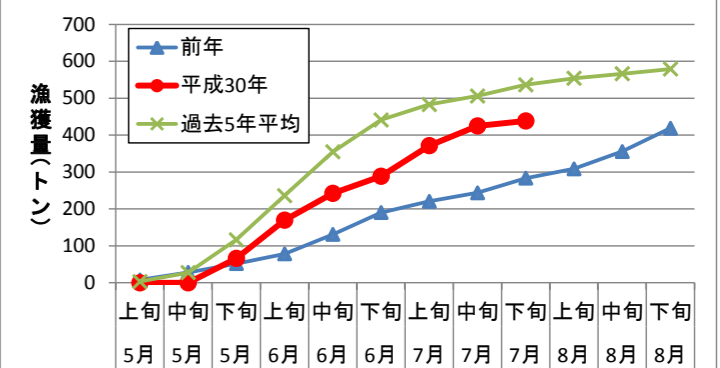
## 沿岸スルメイカ漁(小型いか釣り)の状況

- ・5~7月までの本県の漁獲状況は、延べ808隻(前年比138%、平年比100%)で、重量438トン(前年比155%、平年比82%)となっています。
- ・6月下旬までは平年を下回りましたが、7月上旬から中旬は平年を上回りました。(※「平年」は2013年から2017年の5ヶ年平均)

スルメイカ旬別漁獲量の推移(いか一本釣り、山形県)



スルメイカ累計漁獲量(いか一本釣り、山形県)



## 第2回 日本海スルメイカ長期漁況予報

(国研)水産研究・教育機構は、7月20日に、「平成30年度 第2回 日本海スルメイカ長期漁況予報」を発表しました。

- ・今後の見通し(平成30年8月~12月)

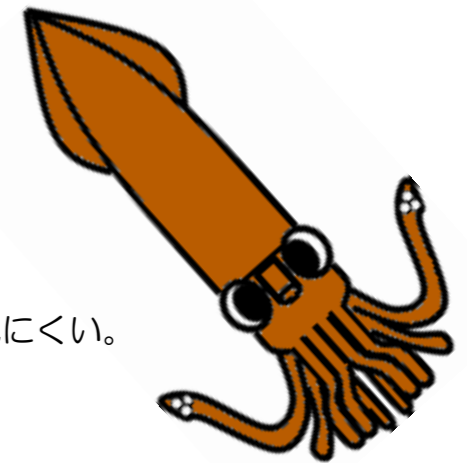
○今期の全体の来遊量  
: 前年および近年平均を下回る。

- 本州北部日本海側
  - ・来遊量・漁況: 前年および近年平均を下回る。
  - ・漁期・漁場: 11月までは近年同様、漁場が形成されにくい。

- 沖合域
  - ・来遊量・漁況: 前年および近年平均を下回る。
  - ・漁期・漁場: 北海道西沖で8月~11月、大和堆周辺海域で11月~12月に漁場が形成される。

## 大型クラゲ情報

- 山形県内では8月2日現在、大型クラゲの出現は確認されておりません。
- 現時点の大型クラゲの分布状況は、概ね昨年と同様の低水準に留まっておりますが、日本周辺海域では例年より早めに大型クラゲが出現しており、6月12日に対馬と壱岐、14日に石川県輪島でクラゲが少数確認されています。日本海への流入量は低い水準に留まっているものと考えられます。
- 水産試験場では引き続き、大型クラゲのモニタリング・情報収集を実施していきます。



# 7月の漁況

- 延べ操業隻数は3,328隻、総漁獲量は488トンで前年比96%と、前年並みでした。
- 採貝藻漁業の漁獲量は44トンで前年比81%でした。サザエおよびイギスは前年を上回り、イワガキおよびアワビは前年を下回りました。(イワガキは「その他漁業」を含む)
- 定置網漁業の漁獲量は12.7トンで前年比97%でした。トビウオは前年を上回りました。
- はえなわ漁業の漁獲量は13.7トンで前年比89%でした。アカムツおよびクロソイは前年を上回り、タイ類、ブリ類およびサワラは前年を下回りました。
- その他の漁業では、いか一本釣漁業のスルメイカ、さし網漁業のサザエおよびごち網漁業のタイ類は前年を上回り、船凍いか釣漁業のスルメイカ、さし網漁業のネジリとキス、あまだいさし網漁業のアマダイおよびばいかご漁業のバイ類は前年を下回りました。

\* 前年比は平成25～29年までの平均値と比較した値です。  
 \* 前年比85%～115%は「前年並み」、前年比84%以下は「前年を下回る」、前年比116%以上は「前年を上回る」としました。  
 \* 小数点以下を四捨五入して表示しているため、合計が合わない場合があります。

## 全漁業支所別漁獲量

支所	吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ業隻数	200	476	600	220	392	408	221	811	3,328	115%	103%
漁獲量	12,213	28,263	265,343	73,320	27,106	23,838	4,968	53,405	488,455	113%	96%
前年比	107%	136%	108%	90%	130%	123%	92%	186%	113%		
前年比	69%	76%	90%	101%	113%	104%	79%	162%	96%		

## 採貝藻漁業

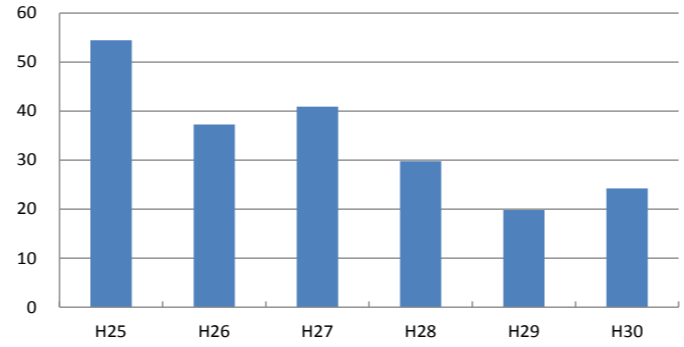
支所	吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	142	283	82	67	148	161	99	337	1,319	142%	107%
イワガキ	9,673		7,449	2,095	399	1,038	191	3,392	24,236	122%	67%
アワビ	85		14		1	18		31	149	46%	19%
サザエ	9	6,657	181	658	1,181	1,385	270	1,761	12,101	132%	151%
イギス				60	484		12	430	986	526%	313%
モズク		665		6	1,265	784	354	124	3,198	497%	102%
その他	140		124	252	404	175	421	1,333	2,848		
計	9,906	7,321	7,768	3,071	3,734	3,399	1,248	7,071	43,518	121%	81%
前年比	106%	89%	92%	163%	220%	223%	140%	174%	121%		
前年比	68%	94%	64%	141%	77%	107%	59%	99%	81%		

※当場の採貝藻漁業の隻数と漁獲量は、その他の漁業のイワガキを加えた値です。

## 定置網漁業

支所	加茂	由良	豊浦	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	7	27	18	6	58	132%	88%
ブリ類	11	2,241	1,496	392	4,139	142%	100%
アジ	560	1,128	2	640	2,330	126%	95%
ウマヅラ	6	240	78	79	402	89%	85%
トビウオ	2,435	806	424	156	3,821	630%	117%
その他	210	766	700	349	2,024		
計	3,221	5,181	2,699	1,616	12,717	168%	97%
前年比	334%	112%	954%	95%	168%		
前年比	200%	83%	68%	125%	97%		

## イワガキ(全漁業、7月)



## はえなわ漁業

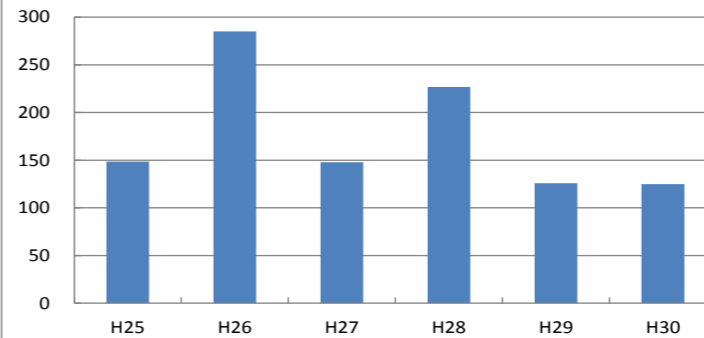
支所	吹浦	飛島	酒田	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	9	21	33	33	40	86	99	321	95%	103%
タイ類	43	196	654	174	166	472	272	1,978	99%	71%
ブリ類	2	9	144	17	28	55	56	310	86%	38%
クロマグロ(30kg未満)		91	516	283	330	1,339	1,073	3,631	55%	131%
クロマグロ(30kg以上)		65			73			138	20%	5%
アカムツ(ノドグロ)	2	12	60	74	73	91	619	931	102%	250%
クロソイ		1,754	26	30	9	25	24	1,868	133%	163%
サワラ			10				2	12	2%	1%
その他	219	642	292	468	579	1,072	1,530	4,801		
計	266	2,769	1,702	1,045	1,258	3,055	3,575	13,669	78%	89%
前年比	56%	74%	75%	116%	138%	73%	71%	78%		
前年比	126%	121%	112%	119%	84%	80%	70%	89%		

## その他の漁業

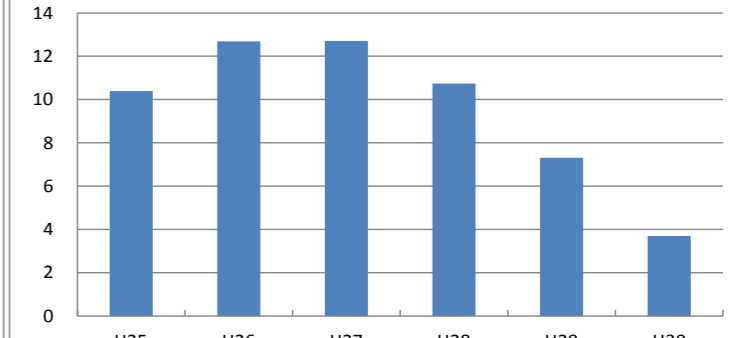
漁業種類	いか一本釣漁業	船凍いか釣漁業	さし網漁業			あまだいさし網漁業	ごち網漁業	一本釣漁業	ばいかご漁業
延べ操業隻数	272	6	535			69	143	255	14
総漁獲量(kg)			11,413			3,214	49,756	7,493	
前年比			91%			101%	121%	144%	
前年比			98%			91%	147%	99%	
対象魚種	スルメイカ	スルメイカ	ネジリ	サザエ	キス	アマダイ	タイ類	メバル類(※)	バイ類
漁獲量(kg)	149,655	124,824	854	5,717	541	2,149	41,903	710	3,701
前年比	160%	99%	91%	91%	195%	92%	130%	133%	51%
前年比	157%	67%	75%	130%	49%	82%	159%	111%	34%

※ハツメ(アカラ)を含む

## スルメイカ漁獲量(船凍いか釣漁業、7月)



## バイ類(ばいかご漁業、7月)



## 最上丸の調査予定(8月中旬～9月上旬)

- ・休漁期間中の底びき網漁場状況を調査し、情報提供します。
- ・漁獲加入量調査、稚魚調査(ヒラメ、マダイ、マガレイ)を行います。
- ・海洋観測を行います。
- ・ワニザメの駆除調査を行います。

みなさま、調査への御理解・御協力  
 よろしくお願ひします。

